

あ げ お 議会 だより



第217号
令和7年(2025)
12月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

特集

令和6年度決算を徹底審査!



写真:「上尾串ぎょうざフェス」に参加した高校生の皆さん

主
な
内
容

特集 決算特別委員会	2 ページ
Pick Up 審議された主な議案	3 ページ
委員会審査、討論	3 ~ 5 ページ
提出議案・請願とその結果	6 ページ
市政に対する一般質問	7 ~ 15 ページ
委員会活動	16 ページ



本会議の映像はLIVE・録画
配信し、委員会などの映像は
録画配信しています。

上尾市 議会中継



9月定例会では、市長から議案として提出された令和6年度決算について審査するため「決算特別委員会」を設置し、各担当部局から詳細な説明を受け、慎重に審査を行いました。

このページでは、決算審査の流れや市長に提出した提言書についてお知らせします。

9/8~12 部局別審査



部局別審査では、部局ごとに説明員を入れ替え、詳細な説明を受けました。委員は、令和6年度実績の効果検証、業務委託や補助金などの適切性など、それぞれの視点から質疑を行いました。

9/16 討論・採決 提言まとめ



討論では、部局別審査を踏まえ、自身がどのような理由で賛成するか、または反対するかを述べます。

討論が終わると、賛成者は挙手により賛成する意思表示をします。令和6年度の6つの決算については、全会一致または賛成多数で、いずれも認定すべきものと決定しました。

採決後、決算審査を踏まえ、令和8年度の予算編成に生かすため、委員が全会一致で提言する内容を協議しました。

9/29 提言書を 市長に提出



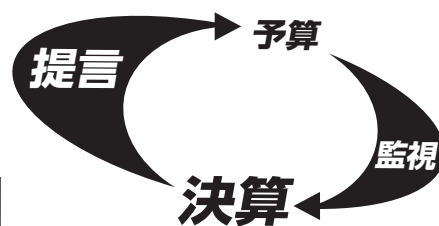
提言書の
全文は
こちら



目良副市長、畠山市長、樋口委員長、黒須副委員長

決算特別委員会として、「適正な財政運営と管理」「安心して産み育てられる環境整備」「こどもの居場所づくりの推進」「学びの環境の充実」「環境保全」「地域経済活性化支援の強化」「市民生活の土台となる公共交通の充実」の7項目を提言書としてまとめ、市長に提出しました。提言書の全文は、左の二次元コードからご覧いただけます。

令和8年3月定例会では、新年度の予算編成が提言書の内容を踏まえたものとなっているかなどの視点から、詳細に審査していきます。



決算特別委員会

決算を踏まえ市へ提言

<委員構成>

◎ 樋口 敦	○ 黒須 喜美雄
田島 純	坂東 知子
新道 龍一	島津 秋男
小高 進	井上 淳子
星野 良行	佐藤 恵理子
平田 通子	前島 るり
海老原 直矢	浦和 三郎

(◎が委員長、○が副委員長)

Pick Up!

9月定例会で審議された主な議案

9月定例会で審議された議案は、市長提出議案（追加提出議案を含む）27件、議員提出議案2件の計29件で、いずれも原案のとおり認定・可決・同意しました。

議案第82号 令和7年度上尾市一般会計補正予算（第5号） 歳入歳出補正額 3601万4000円

総合福祉センター大規模改造工事（機械設備工事）の補正予算を可決

6月定例会では当該部分の
工事費（約7240万円）を認めず

積算方法を見直し、
約半分の費用で再度提案される



概要

総合福祉センター大規模改造工事について、物価上昇などに対応するため、インフレスライド条項を適用し、機械設備工事の請負金額を変更するもの。

経緯

6月定例会では、機械設備工事のうち「自動制御設備工事」が契約当初から80%超の増加率で、その増額分が工期内に発生したと判断できる十分な説明が得られなかったことを理由として、機械設備工事部分を減額修正した予算を可決した。

今回

6月定例会ではインフレに伴う再設計の起点を起工時としていたが、9月定例会では入札日を起点として再積算を行ったことにより、約3600万円の補正予算として提案された。

※その他の議案や議決結果については、6ページ「令和7年9月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

9月定例会の動き

8月28日	本会議	開会、市長提出議案の上程および説明、監査報告
9月2日	本会議	提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
	委員会	決算特別委員会
	委員会	総務・健康福祉常任委員会
9月3日	本会議	委員長報告、討論、採決（議案第82号）
9月4日	委員会	総務・都市整備消防常任委員会
	委員会	文教経済・健康福祉常任委員会
9月8～12日 9月16日	委員会	決算特別委員会
9月18日	本会議	一般質問
9月19日	本会議	一般質問
9月22日	本会議	一般質問、追加提出議案の上程および説明
9月24日	本会議	一般質問
	本会議	一般質問、追加提出議案に対する質疑、委員会付託
9月25日	委員会	健康福祉常任委員会
	本会議	委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、説明、討論、採決、閉会
9月30日		

例 加熱式たばこの課税方式を見直し

総務常任委員会

総務、文教経済、都市整備消防、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

委員会審査から

に伴い、個人の市民税について特定親族特別控除に係る規定を整備する他、市たばこ税について加熱式たばこの課税方式を見直すもの。

委員 条例改正により、市たばこ税はどの程度増収する見込みか。

答 国の資料を基にすると、1400万円程度の増収が見込まれる。

委員 加熱式たばこの価格はどのくらい増えるのか。

答 メーカなどにもよるが、1箱当たり40円から100円程度の値上げになると想定される。国のたばこ税も増税されればさらに膨らむと考えられる。

（メモ）地方税法などの一部改正

文教経済常任委員会

請願審査
給食調理室にエアコン設置
を求める請願を審査

〈メモ〉近年の猛暑や職場の熱中症対策が義務化されたこと、令和4年に同趣旨の請願が採択されていることを踏まえ、小・中学校の給食調理室にエアコンの設置を求めるもの。

委員 暑さ対策として、どのような取り組みを考えているか。

答 大石小学校の給食調理室の屋根に断熱塗料を塗るとともに、空調機を設置する予定である。この効果検証を踏まえて、他校にも展開していきたいと考えている。

都市整備消防常任委員会

財産取得
高規格救急車を
2台購入

〈メモ〉広域災害に対応した救急現場での高度な救急救命活動に充てるため、災害対応特殊救急自動車（高規格救急自動車）などを更新して取得するもの。

委員 2台とも同じ金額だが、規格も同じなのか。

答 いずれも高規格救急車であり

車両は同じだが、資器材に一部違いがある。また1台は緊急消防援助隊に登録し、もう1台は非常用として配備する。

委員 人件費も物価も上がっている中、令和6年6月定例会で審査した議案と比較して取得価格が1000万円近くも安くなっているが、どのように分析しているか。

答 委員会審査の際に価格を抑える取り組みを求められ、資器材を極力減らすなどした。価格については業者間の競争が働いたものとして認識している。

健康福祉常任委員会

請願審査
作業療法士などの活用
を求める請願を審査

〈メモ〉健康増進事業へ作業療法士などが関与できる民間への委託体制、高齢者や働き世代へのフレイル予防体制を検討し、市に作業療法士などの活用を求めるもの。

委員 請願が採択された場合、市はどのように取り扱うか。

答 地域の通いの場に対しては、既に作業療法士などの専門職が加入している団体に講師派遣を依頼しており、こうした団体と相談しながら検討することになる。

市長提出議案に対する討論

令和6年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定

反対 政策・市民の声 決算審査

において、委託事業への執行部の認識に誤りがあり、十分な理解や精査がされずに税金の支出が行われてきたことが明らかになった。

反対 日本共産党 国からの交付金が増えているにもかかわらず、

全ての市民に行き渡る市独自のメニューがなく、市の財政が市民のために十分に使われていない。

令和6年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

反対 日本共産党 物価高騰の中、

県内保険税の準統一に向けた保険料の値上げで滞納者が増えている。子どもの均等割や市独自の減免を実施するよう求める。

令和6年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

反対 日本共産党 標準保険料が

1・13倍値上げされた他、介護報酬の引き下げによりケアマネジャーやヘルパーなどの介護人材が不足し、深刻な状況になっている。

令和6年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

反対 日本共産党 保険料標準額

は6225円引き上げられた。少ない年金額で暮らす多くの高齢者の生活を圧迫し、受診控えも懸念され、悪影響である。

令和6年度上尾市水道事業会計決算の認定、令和6年度上尾市公共

下水道事業会計決算の認定

反対 無会派（秋山） 私が最初

に一般質問をしたときから入札の仕組みが変わっていない。多くの業者に自由競争、公正な入札に参加してもらいたい。

令和7年度上尾市一般会計補正予算（第5号）

賛成 無会派（坂東） 工事費に

ついて、県の基準を適用したことについては賛成するが、当初提示された増額割合との乖離や今後同様の案件が増えることに鑑み、市独自の条項の制定を要望する。

市議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び市議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定

反対 無会派（坂東） これまで

の金額も高額な上限で、税金の無駄遣いである。政治家に都合のいい政策ばかり改正され、庶民感覚とのずれが政治不信と言われる原

因の一つでもある。

上尾市税条例の一部を改正する条例の制定

反対 無会派(秋山) 税金は取りやすいところから取るというシステムだと感じ、たばこ税の値上げには反対する。

反対 無会派(金澤) 加熱式たばこは紙巻きたばこと比較して有害物質や健康被害が同等であるとは限らず、増税に至る経緯の透明性と公平性の情報が不足している。

工事請負契約の変更契約の締結「総合福祉センター大規模改造工事(電気設備工事、建築工事、機械設備工事)」

反対 無会派(秋山) ことぶき荘は地域が大事にすべき施設であり、高齢者が利用する入浴施設をなくしてはいけない。そのため関連の工事費についても反対する。

請願に対する討論

学校給食センター化計画の撤回と小学校の自校方式の継続を求める請願

賛成 日本共産党 大人も子どももおいしい自校給食を変えないでほしいという声が多く、パブリックコメントでもセンター化に賛同する意見は一つもなかった。

中小学校の給食調理室へのエアコン設置を求める請願

賛成 日本共産党 大石小学校の給食調理室に新たに導入される空調機の効果に期待し、効果が確認できた際には、早急に他校への展開を進めてほしい。

作業療法士による予防的支援体制構築を求める請願

賛成 政策・市民の声 フレイル予防は中年期以前から必要であり、今の体制が十分とは言えない。早い段階から各専門家と行政の連携を求める必要がある。

賛成 日本共産党 単なるサービス提供にとどまらず、地域の通いの場へ定期訪問などにより、利用者の課題を発見し、フレイル予防などへの支援体制が期待される。

国などへの意見書に対する討論

埼玉県民活動総合センターの継続を求める意見書

賛成 志誠ネット 大規模な研修や学習会に対応できる施設であり、その必要性は十分に議論がなされていくべきものであることから、この意見書の趣旨は理解できる。

反対 政策・市民の声 維持費や利用者の偏りに指摘があることを踏まえ、廃止という議論を捨てて

しまうことは拙速である。県民に有意義な施設とすることを望む。

同意した人事案件

監査委員に大内美幸氏

監査委員・代田龍乗氏が令和7年4月30日をもって退職したため、後任として大内美幸氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

教育委員会委員に湯本華奈子氏

教育委員会委員・内田みどり氏の任期が令和7年9月30日で満了となるため、後任として湯本華奈

子氏を任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

採択された請願

令和7年9月定例会において、次の請願が採択されました。

中小学校の給食調理室へのエアコン設置を求める請願

請願者／学校給食費無料化をめざす上尾みんなの会 中西百合子氏
作業療法士による予防的支援体制構築を求める請願
請願者／福田裕氏

9月定例会では

こんなことがありました

再付託を求める動議が可決

健康福祉常任委員会に付託された「議案第82号 令和7年度上尾市一般会計補正予算(第5号)」(第1条歳出全部)については、市から委員会中の発言が不十分で誤解を与えたおそれがあり、改めて説明の機会がほしいとの話があったことに加え、本市にとって初めてのインフレスライド条項を適用する案件であり、より丁寧な説明を求めたいとの理由から、同委員会に再付託を求める動議が提出されました。

採決の結果、この動議は賛成多数で可決されたため、健康福祉常任委員会に再付託され、改めて審査を行いました。

附帯決議を全会一致で可決

「議案第82号 令和7年度上尾市一般会計補正予算(第5号)」は、本会議で次の内容の附帯決議案が提出され、全会一致で可決されました。

- インフレスライド条項適用における運用マニュアルやガイドラインを作成するに当たっては、全庁を対象として作成し広く公表すること。
- 検討の経過および作成された運用マニュアルないしガイドラインについては、議会に対して報告し意見を求めること。

令和 7 年 9 月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案（27件）

議案番号	議案名	議決結果
議案第 76 号	令和 6 年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第 77 号	令和 6 年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第 78 号	令和 6 年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第 79 号	令和 6 年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第 80 号	令和 6 年度上尾市水道事業会計決算の認定について	
議案第 81 号	令和 6 年度上尾市公共下水道事業会計決算の認定について	原案可決
議案第 82 号	令和 7 年度上尾市一般会計補正予算(第 5 号)	
議案第 83 号	令和 7 年度上尾市一般会計補正予算(第 6 号)	
議案第 84 号	令和 7 年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	
議案第 85 号	令和 7 年度上尾市水道事業会計補正予算(第 2 号)	
議案第 86 号	令和 7 年度上尾市公共下水道事業会計補正予算(第 2 号)	
議案第 87 号	市議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び市議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第 88 号	上尾市職員の育児休業等に関する条例及び上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第 89 号	上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第 90 号	上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第 91 号	上尾市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第 92 号	工事請負契約の変更契約の締結について【総合福祉センター大規模改造工事(電気設備工事)】	
議案第 93 号	工事請負契約の変更契約の締結について【総合福祉センター大規模改造工事(建築工事)】	
議案第 94 号	財産の取得について【災害対応特殊救急自動車(高規格救急自動車)】	
議案第 95 号	財産の取得について【高規格救急自動車(非常用)】	
議案第 96 号	財産の取得について【小学校児童用机(新 J I S 規格)】	
議案第 97 号	財産の取得について【避難所環境整備備品】	
議案第 98 号	市道路線の認定について	
議案第 99 号	市道路線の廃止について	
議案第 100 号	監査委員の選任について【大内美幸氏】	同 意
議案第 101 号	教育委員会委員の任命について【湯本華奈子氏】	
議案第 102 号	工事請負契約の変更契約の締結について【総合福祉センター大規模改造工事(機械設備工事)】	原案可決

◎請願（3件）

請願番号	請願名	議決結果
請願第 8 号	学校給食センター化計画の撤回と小学校の自校方式の継続を求める請願	不 採 択
請願第 9 号	小中学校の給食調理室へのエアコン設置を求める請願	採 択
請願第 10 号	作業療法士による予防的支援体制構築を求める請願	

◎議員提出議案（2件）

議案番号	議案名	議決結果
議案第 16 号議案	最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書	原案可決
議案第 17 号議案	埼玉県県民活動総合センターの継続を求める意見書	

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

※○＝賛成 ×＝反対 ■＝退席 ※議長は採決に加わりません。
※一覧に掲載されていない議案・請願は、全会一致で可決・同意・採択。

議案・請願番号	議決結果	あげお志誠ネットワーク							政策フォーラム・市民の声あげお							公明党上尾市議団					日本共産党上尾市議団					会派に属さない議員						
		黒須喜美雄	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	斎藤哲雄	星野良行	大室尚	稲村久美子	樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	浦和三郎	井上茂	篠原文子	島津秋男	小高進	井上智則	前島るり	井上淳子	轟信一	新藤孝子	平田通子	坂東知子	津田ひとみ	秋山かほる	金澤祥子	佐藤恵理子	
議案第 76 号	認 定	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
議案第 77 号	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
議案第 78 号	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
議案第 79 号	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
議案第 80 号	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 81 号	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 82 号	原案可決	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠席
議案第 87 号	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第 89 号	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第 92 号	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 93 号	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第102号	原案可決	×	×	×	×	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
請願第 8 号	不 採 択	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	
請願第 10 号	採 択	×	×	×	×	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号議案	原案可決	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
議案第17号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	



一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

9月定例会では、9月18・19・22・24・25日の5日間行われ、25人の議員が市政全般79項目にわたって市当局の見解を求めました。また5日間で延べ95人の皆さんが議会を傍聴しました。

※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、12月下旬に市議会ホームページで公開予定です。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。



問 6月下旬に市民から、市役所の中が異常に暑いという問い合わせをいただいた。すぐに庁舎管理者である総務課に連絡を取ったところ、空調機を稼働しているが冷えない状況であるとの回答をもらった。至急、空調機の点検を行うように依頼したが、来庁者からこのような問い合わせはなかったか。

答 市長への政策提言・市政への問い合わせ制度にて、6月に「庁舎内が暑い」というご意見を2件いただきました。職員から同様の意見が寄せられた。これは庁舎屋上にある冷却塔に不具合が生じ、冷房が効きにくくなったこと



星野良行（志誠ネット）

市庁舎の温度管理は適切に行われているか

その他の質問

- マインバード
- 原市沼調節池整備
- 西貝塚環境センターの今後



市役所の冷却塔

問 一番暑かったときの室温は何度か。

答 本年5月から8月までの平日開庁時間帯を確認したところ、冷却塔に不具合が生じていた時期の7月1日午前11時の7階フロアが最も高く、32・1度であった。

問 行政も緻密な分析を基に、正しく将来を見据えなければならぬ。そこで、大学など

答 アーバンデザインセンターは、これまでの取り組みやネットワークをさらに発展させる場として、また産官学民が一体となって持続可能な地域形成を進めるためのプラットフォームとして、可能性を有しているものと受け止めている。

問 多くの自治体で地域課題の解決に向け、まちに関わる様々な団体が連携し、統合的なまちづくりを行う推進体「アーバンデザインセンター」の取り組みが推進されているが、上尾市の見解を伺う。



前島るり（公明党）

産業界や大学、市民などと連携した総合的なまちづくりを

その他の質問

- 室内プールの必要性
- 市役所などの暑さ対策
- 上尾駅東口駐輪場不足などの課題

答 市の政策は、現場をよく知る市の職員が、議会や市民の声に耳を傾け、社会の動向や他自治体の状況などを学び、企画立案していくことが重要と考えている。一方で、行政では経験やノウハウの乏しい分野などは、民間の優れた手法や知見を活用することも必要と考える。社会課題ごとに外部の研究機関、大学、企業などと交流を深めて議論し、市の課題解決に結びつけていきたい。

社会福祉協議会に対し 市は監査を行っているか

坂東知子（無会派）



問 社会福祉協議会に
対する補助金額2億2
160万円のうち、7
割を超える1億692
0万円が事務局職員22
人分の人件費であるこ
とが分かった。人件費
を含む多額の補助金を出
しているのであれば、
きちんと職務を遂行し
ているか、市として監
査する必要があると思
うが、監査や指導は行
っているか。

答 市としては、社会
福祉法第56条に基づき
社会福祉法人の法人運
営と財務管理を監査す
る「指導監査」を行っ
ている。その他、県に
よる「施設監査」、市監
査委員による「財政援
助団体等監査」がある。
問 2015年までは

社協に市職員を1人派

遣していたようだが、
社協の状況を把握した
り、いい意味で緊張感
が生まれたりして、現
状に増して社協本来の
事業が展開されると考
える。再度職員の派遣
を導入してほしいと考
えるが、市の見解は。

答 現在の社会福祉協
議会は、地域に根差し
た活動を続け、各種団
体との連携を深めるな
ど自主的に組織運営が
行われており、人的援
助の必要はないと考え
ている。

今後、社会福祉協
会からの要請があった
場合には、必要に応じ
て協議していく。

その他の質問

- ネーミングライツ事
業
- 新ごみ処理施設
- 英語教育
- 指定管理者制度

上平地区の街づくり／学校 プールの環境整備と今後の計画

小高 進（公明党）



上平地区の街づくり

問 上平中学校の用地
拡大に伴う周辺の計画
について伺う。

答 学校西側の道路は
多くの生徒が登下校で
利用しているため、堀
を学校敷地内にセット
バックさせる。また校
門についても、十分な
幅を確保することで、
通学時の安全性の向上
を図っていく。

問 上平地区の街づく
りを考えていく上で、
上平広場の今後の計画
を伺う。

答 上平中学校第2グ
ラウンドの跡地利用と
いう新たな検討事案も
生じたことから、上平
広場だけでなく、上平
中学校第2グラウンド
跡地も含めた利活用の

方向性を示せるよう検

討を進めていく。

学校プールの環境整備
と今後の計画

問 今後、プールを市
民開放する考えはない
のか。

答 老朽化に伴う施設
の維持管理や日々の水
質管理などの課題があ
り、市民開放は行って
いない。

今後の学校の水泳授
業については、民間ス
イミングスクールや公
営プールだけでなく、
学校間で共同利用でき
るプールの整備も検討
している。整備に当た
っては、学校教育の場
としての機能だけでなく、
市民の健康増進や
地域コミュニティの
観点から、市民開放の
在り方も検討していく。

その他の質問

- 大石地区の交通手段
- 森や林を守るために

障害がある子どもたちにも 本人の希望に沿ったサポートを

稲村久美子（政策・市民の声）



問 特別支援学級では
障害がある児童生徒を
どの程度まで受け入れ
可能としているのか。

答 特別支援学級への
就学や教育形態の変更
については、上尾市就
学支援委員会で障害の
種類や程度を踏まえ、
教育学、医学、心理学
などの観点から、総合
的かつ慎重な判断を基
に、保護者と合意形成
を図りながら決定して
いる。

問 通常学級の支援の
ために配置されている
アッピースマイルサポ
ーターについて、特別
支援学級にも配置して
ほしいという声がある
が、それは可能か。

答 現在任用している
アッピースマイルサポ

ーターは、通常学級に

おける学級担任の職務
補佐を勤務条件として
いるため、特別支援学
級に配置することは想
定していない。今後、
各校の状況を把握しつ
つ調査研究をしていく。

問 障害がある子ども
たちも、本人の希望に
よって地域の学校に通
えるようにサポートを
することについて、ど
のように考えているか。
市長の見解を伺う。

答 将来を担う全ての
子どもたちが安心して
学校に通えるようにサ
ポートすることは、何
よりも大切なことであ
ると考えている。今後
も教育委員会と連携し
ながら、子どもたちの
健やかな成長のため力
を注いでいく。

その他の質問

- フレイル及び予防
- 居場所づくり

給食提供方式変更による影響／愛宕三丁目の開発

小池佑弥（志誠ネット）



給食提供方式変更による影響

問 センター方式移行に当たり、大規模ロツトに対応できない既存事業所保護の方策は。

答 供給能力に応じた発注や組合による対応など、市内産業保護のための方策を検討する。

愛宕三丁目の開発

問 愛宕三丁目は商業施設の閉店や大規模集合住宅の建設が進み変化が大きい。令和2年の大型商業施設立地時に県や警察と行った交通協議の内容を更新すべきと考えるが見解は。

答 第一大谷街道踏切から中山道までの交通環境が変化し、周辺道路の渋滞発生が懸念されることから、交通対

策について関係機関とともに開発事業者へ指導、助言を行う。

問 用途地域や用地規模に鑑み、市として積極的な介入、管理が必要である。近隣住民や事業所と意見交換すべきと考えるが見解は。

答 過度な規制を課すことは難しいが、住環境との調和を図るため、関係者からの意見集約と開発事業者への適切な助言、指導を行っていききたい。



その他の質問

- ICT教育
- 住宅耐震化

上平広場の利活用の方角性はいつ示されるのか

新道龍一（志誠ネット）



問 上平広場の土地は全市民を巻き込んだ問題であったはずだが、世間の目に触れられないよう棚上げするつもりなのか。

答 上平広場の土地利用については、上平複合施設の基本構想の撤回、凍結を正式に決定したことで、2期目の公約は達成したものと考えている。

問 新図書館計画を白紙に戻したのであれば、新たなロードマップを示し、市民への説明責任をきちんと果たすべきである。利活用の方角性を示せるよう検討を進めるのであれば、まずは市長の号令で検討組織を設置すべきではないか。

答 上平広場の土地については、政策的な判断をした場所でもあることから、その方向性を示すことは重要な責務の一つである。これまで公共施設マネジメント計画との整合性を図り検討してきたが、昨年度には図書館本館更新方針や学校給食施設基本計画の策定などにより、当面の大規模な公共施設の整備方針の見通しが持てた。他方、上平広場周辺では、上平中学校第2グラウンドの跡地利用という新たな検討事例も生じた。

こうした状況を踏まえ、本年度中に庁内検討組織を設置し、方向性を示せるよう検討を進めていく。

その他の質問

- 住みよいまちづくり
- 子育て支援

上尾市カスハラ条例作成は

篠原文子（公明党）



上尾市カスハラ条例作成は

問 市役所におけるカスターハラスメント（カスハラ）事案はあるか。

答 7月の調査では、回答があった1159人のうち約38%の職員がカスハラと思われる事案を受けた経験があると回答している。

問 誰もが安心して働ける環境を確保することを目的として、職員に対するカスハラ防止に関する基本方針を作成したらいかがか。

答 県条例および職員アンケートの内容を踏まえ、カスハラ防止対策の指針などの作成を検討している。

おくやみ窓口

おくやみ窓口

おくやみ窓口とは。

答 親族が亡くなった際に遺族の負担を軽減できるよう、市役所で必要な手続きをワンストップで行えるようにしている。

問 利用方法は。

答 まず、利用者から電話などで仮予約をしていただく。その後、担当職員から手続きに必要な持ち物などを記した案内通知が届き次第、来庁日時を本予約していただく。来庁当日は、おくやみ窓口で全体の手続きを行い、必要に応じて各課へ案内する場合がある。



おくやみ窓口（市役所1階）

その他の質問

- 学校樹木
- 道路行政

市民に寄り添う防災行政を 図書館本館の大規模改修

金澤祥子（無会派）



市民に寄り添う防災行政を

問 住民避難訓練は、体制変更後に一度も実施していない地域がある。全地域で実施されるには何年かかるか。

答 四、五年で全ての自主防災会が一度は参加すると想定している。

問 災害用物資の備蓄状況を年一回公表することが義務化された。それが併せて、どの防災倉庫に、何をどのくらい備蓄しているか公表してはどうか。

答 公表項目や、防災倉庫ごとに行うかなどを含め、今後の国の動向を注視していく。

問 ペット同行避難訓練の実施の必要性について市の考えを伺う。

答 参加者の安全確保や動物が苦手な人への配慮など、避難訓練のルール整備を進め、手法を含めて検討する。

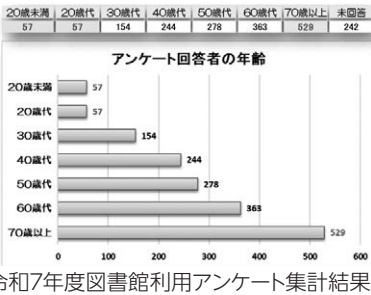
図書館本館の大規模改修

問 図書館アンケートの回答者は高齢者に偏りが見られたが、若い世代の声はどのように拾っているのか。

答 今回は、図書館を利用する若い世代に対して協力を呼び掛け回答率の向上を図った。より多くの世代の意見が反映できるよう、手法を検討していく。

問 市が管理しているエスカレーターでは、利用方法をどのように周知しているか。

答 JR上尾駅、北上尾駅のエスカレーター



エスカレーターの 安全な利用の促進を

荒川昌佑（政策・市民の声）



問 埼玉県が全国で初めて制定した、エスカレーターに関する条例の内容を伺う。

答 埼玉県は、令和3年10月、全国初となる「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例を施行した。この条例では、エスカレーターでの歩行は転倒事故のリスクを高めるため、身体の不自由な人や子ども連れの人も安心して利用できるよう、左右両側に立ち止まることが義務付けられている。

問 市が管理しているエスカレーターでは、利用方法をどのように周知しているか。

答 JR上尾駅、北上尾駅のエスカレーター

問 市が管理しているエスカレーターでは、利用方法をどのように周知しているか。

● 育児休暇
● 空き家問題
その他の質問



啓発ポスター（埼玉県提供）

乗り口に県の啓発シールを貼り、エスカレーターで立ち止まることを周知している。

問 シールだけでは不十分である。特に駅では、左側に長蛇の列ができて不経済である。大々的にラッピングをしたり、手すりや足元に表示したりと視覚的に訴えていく必要があると思うが見解は。

答 利用者の多い駅での周知は必要と考えている。今後、アナウンスなど県内他市における周知方法を調査し、どのような方法が有効か検討していく。

コミュニティラジオを 活用した防災情報発信を

島津秋男（公明党）



問 防災行政無線の情報、さまざまなツールを用いて市民に発信していると思うが、新たなツールの検討は行っているのか。

答 防災行政無線情報については、市公式ライン、XといったSNSやメールマガジン、ホームページ、ヤフー防災速報アプリなどの活用、聞き逃した場合の電話応答サービスなど、複数の媒体を活用し情報発信を行っている。新たな取り組みとして、株式会社ジエイコムと協定を締結し、本年から専用端末を活用した防災行政無線の再送信を行うサービスを開始した。

問 県内の自治体では、

防災に関しコミュニティFMなどのような取り組みがあるか。

答 県内14のコミュニティ放送局のうち、11の自治体で、災害時の緊急放送や地域活性化に関する協定を締結している。

問 上尾や伊奈のコミュニティFMである「あいラジオ」も、防災情報発信のツールとして活用してほしいが、市としてどのように関わっていくのか。

答 コミュニティFMについては、防災情報発信の手段として有用なものの一つと認識している。今後、コミュニティ放送局との連携も含めて検討していく。

● 空き家対策
● 食品ロス問題の取り組み
その他の質問

公共工事における酷暑対策／ 補聴器購入補助創設を

井上智則（公明党）



公共工事における酷暑対策

問 公共工事での熱中症予防、酷暑対策に係る経費は、どのように計上されているか。

答 本年7月、発注者は熱中症対策に必要な経費を計上するなどの配慮を行うよう、国から通知があった。本市では、営繕工事などの一部においてこれらの経費を見込んでいるものの、その他の工事ではまだ展開されておらず、設計積算への反映について、関係部局と調整を図りながら今後検討していきたい。

補聴器購入補助創設を

問 補聴器の有用性などについて、医師などの専門家に対する意見

聴取の状況を伺う。

答 補聴器の有用性については、上尾市医師会を通じて耳鼻科専門医に意見を伺うとともに、補聴器が必要となる人の条件などを確認した。今後は認定補聴器技能者が在籍している補聴器販売店を訪問し、補聴器を長期にわたり正しく装着するための工夫などの意見を伺う予定である。

問 補助制度の創設について、市の見解は。

答 補聴器を使用することにより、社会的孤立の防止や認知機能の維持、フレイル予防につながる。他市の検証結果なども踏まえて検討したい。

その他の質問

- 子ども・若者の声を活かす市政に
- エビデンスに基づく政策立案

各種施設やインフラ整備の今後の方向性／ ふるさと納税型クラウドファンディング

矢口豊人（政策・市民の声）



各種施設やインフラ整備の課題や方向性

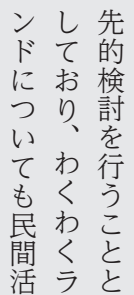
問 西貝塚環境センターの跡地利用に当たり、アーバンスポーツパークや民俗博物館などさまざまな事例がある。かわまちづくり計画と併せ、平方、市の魅力を高める取り組みをすべきではないか。

答 かわまちづくり計画は市の魅力を高める取り組みの一つであり、平方地区全体のにぎわいづくりの手法の一つとして進めることも必要と認識している。

問 PFIなど民間活力を生かしたわくわくランドの再整備、維持管理、にぎわい拠点化をすべきではないか。

答 本市では公共施設

整備にPFI導入の優先的検討を行うこととしており、わくわくランドについても民間活力導入を検討していく。



問 災害時の迅速な断水状況把握にも有効なため、スマートメーターを導入できないか。

答 導入する際には補助金活用を考慮しており、国の動向を注視する。

ふるさと納税型クラウドファンディング

問 地域に密着した課題解決や魅力発信を行うためにも、市民参加型のふるさと納税クラウドファンディングを事業化してはどうか。

答 有効な取り組みと考える。他市の事例を調査研究していきたい。



民間活力導入事例の
公園内温浴施設
Sauna&Spa Green
(須賀川市)

市女性職員の 管理職への登用は

井上 茂（政策・市民の声）



問 市役所は男女雇用機会均等法に則り、率先して管理職への女性職員の登用を行うべきと考える。役職別の男女別職員数と割合および管理職の割合について伺う。

答 令和7年の職員数1474人のうち、男性が892人、女性が582人で、女性の比率は39.5%である。また、女性管理職の割合は19.7%である。

問 主査級の女性職員の割合が53.8%と多くなる理由は。

答 管理職や副主幹級などの指導的地位に立つことへの不安や、家庭との両立が困難であるなどの事情により、希望しない女性職員が

増加しており、結果として主査級の女性割合が高くなっていると考えられる。

問 女性管理職を増やすためには、何か手立てが必要ではないか。

答 女性管理職を増やしていく上で、副主幹級の女性が少ないことが大きな課題と認識している。不安を解消し、裾野を広げる取り組みをしていきたい。

問 女性管理職割合の目標値はあるか。

答 上尾市特定事業主行動計画の中で毎年度の全市町村平均以上を維持することを目標としている。令和6年度の女性管理職割合の全国平均が18.4%であり、本市はこの目標を達成している。

その他の質問

- 戦略的、先進的政策
- 行政諸計画

上尾駅西口高架下

喫煙場所の改善は



浦和二郎（政策・市民の声）



問 地方たばこ税の安定的な確保と望まない受動喫煙対策のための分煙施設の整備促進についての通達は承知しているか。

答 分煙施設整備の意義などを踏まえ、地方たばこ税の活用も含め整備を積極的に進めるよう要請があった。

問 上尾市も財政当局と環境経済部で連携し進めていくことが重要と考えるが見解は。

答 この通知の留意点などを踏まえ、喫煙スペースの拡張やランクの設置などの対策を検討している。

問 風向きにより高崎線ホームまで副流煙が流れ込むとの苦情があった。この喫煙場所の

改修・改造を含め展望はあるか。

答 煙が横に漏れ出ず上空に流れるようにする対策や、たばこの臭いを抑えるために消臭剤を配置するなどの対策を検討している。

問 改修・改造を進めるに当たっての課題はあるか。

答 喫煙所の立地などにより分煙対策が難しい場合があり、費用対効果など最善の対策を講じることである。

問 分煙施設整備に関する特別交付税措置があるが、その内容は。

答 事業費に対し上限500万円、その2分の1の額が特別交付税として措置される。

その他の質問

●給食費公会計化

●上尾道路沿道堤崎西部地区街づくりの進捗状況

居場所を整備し

「朝の小さい壁」の解決を



樋口 敦（政策・市民の声）



問 朝の子どもの居場所について学校や教育委員会に対して保護者から寄せられた声は。

答 「出勤時刻に合わせて子どもを学校に送り出すことができない」「先に出勤してしまいうので、家に子どもだけいさせることが心配」などの声があった。

問 「朝のこどもの居場所づくり事業」を本市でも実施してもらいたいと考えるが、検討状況や見解は。

答 安全安心に過ごせる場所の確保や見守りが可能な人員体制などが課題と認識している。現在、県のモデル事業として実施している志本市と行田市を含め、他の都府県で実施して

いる取り組みについて情報収集している。

問 学校や教育施設を使用している自治体もあり、教育部局との連携が不可欠と考えるが、教育部局の見解は。

答 安全安心に過ごせる場所として学校内の施設が適切であると認識している。一方で、教職員の働き方改革も進めなければならぬ中、実施については場所と人材の確保が大きな課題であると捉えている。安心して子育てを行う環境を整えるよう、こども未来部をはじめとする行政組織内での連携とともに、地域などの協力の下、実施に向け課題解決に取り組んでいきたい。

その他の質問

●受動喫煙対策

●交通安全対策

●学校給食

新図書館本館について

楽しくフレイル予防



津田ひとみ（無党派）



新図書館本館について

問 図書館本館、仮本館の今後の予定は。

答 現在、本館の改修に向けて基本計画の作成や基本設計を進めており、今後市民の意見を伺う予定である。令和8年度に実施設計を行い、令和9年度中に着工、令和10年度の運営再開を目指している。

仮本館は、改修工事期間中の代替施設として、丸広百貨店6階の一部を借用し、令和8年度中の開館を目指し整備を進めていく。本館工事完了後は、分館として運営していく。

問 今後の図書館全体のコンセプトと未来に向けたビジョンを伺う。

答 アンケートなどで把握した市民ニーズを踏まえ「ゆったりと本に親しめる居心地の良い空間」をコンセプトとし、引き続き「暮らしに役立ち市民と共に歩む図書館」の実現を目指していく。

楽しくフレイル予防

問 少子高齢化が進み医療・介護費用が自治体財政を圧迫することが懸念される。フレイル予防は早急に取り組むべき課題であると考え。認知度向上のためにも、シニアディスコを開催してはどうか。

答 実施している自治体においては、高齢者のシニアディスコへの参加は、適度な運動に加え、社会参加の促進や生きがいづくりなど、フレイル予防に効果があるとされている。今後、事例などを調査研究していく。

地産地消で持続可能な農業へ／給食費無償化を

井上淳子（日本共産党）



地産地消で持続可能な農業へ

問 脱炭素化に向けた再生可能エネルギー普及の観点で営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）が注目されているが、本市での設置状況は。

答 平成27年度より設置が始まり、茶やブルーベリーなどが作付けされた営農型太陽光発電が9カ所ある。

問 太陽光発電を行う田んぼを視察した。作物収入に加え売電収入も得られ、農業経営の安定化に有効と感じたが、導入するための補助制度はあるのか。

答 発電した電力の50%以上を自家消費することを要件に、事業者

安心な子どもの居場所を／命を守る応援事業を

新藤孝子（日本共産党）



安心な子どもの居場所を

問 物価高騰が続く中、経済的な苦しさから困難を抱える家庭もあり、空腹や孤立感を防ぐために、子どもの居場所が重要である。地域の飲食店を利用して「子ども食堂」を行うシステムがあるが、市でも取り組みができないか。

答 気軽に安心して利用できる環境は貴重な子どもの居場所になるものと認識している。引き続き、補助金の交付など必要な支援を実施する。

命を守る応援事業を

問 食料品やエネルギー価格が上昇している中、生活保護世帯の工



営農型太陽光発電（加須市内）

市の安全管理は

大室 尚（志誠ネット）



問 上尾市発注の工事および委託の安全管理はどのようなになっているのか。

答 本市発注の工事・委託の安全管理は、労働安全衛生法や県の土木工事、建築工事、委託業務実務要覧に基づき行っている。発注者は契約締結後、市職員を監督員として定め、受注者から提出される施工計画書の安全管理項目の確認を行い、必要に応じて指示、立ち会いなどを行っている。受注者は、作業場所の巡視、労働者への安全衛生教育などの現場管理を行うこととなっている。

問 消防隊員の夏場の熱中症予防対策の安全

管理については、どのようにしているのか。

答 消防隊員の熱中症対策として、まず普段から暑さに体を適応させる訓練を実施し、炎天下や高温環境での活動に耐え得る体力を養っている。災害現場では、活動時間や疲労状況を考慮しながら適宜隊員を入れ替え、活動を行っている。さらに、現場での体温管理と水分補給を徹底するため、の装備も強化している。加えて、本年度から熱中症のリスクが高まる場合への備えとして、簡易水槽を現場に設置し、迅速に体を冷却できるようにクーリングスเปースを整えている。

その他の質問

- 入札と契約
- 市街化調整区域の規制
- 地元懸案事項

障がい者（児）が
暮らしやすいまち上尾に

轟 信一（日本共産党）



問 つくし学園の在籍児童数は。

答 本年9月1日時点の在籍児童数は75人である。

問 保育士の人材育成として行っている取り組みは。

答 公立保育所では「上尾市立保育所安全委員会」を年4回開催し、児童の事故予防対策に取り組んでいる。

また公立保育所と私立保育園などの共通の取り組みとして「上尾市保育所等職員全体研修会」を開催しており、本年度は公立、私立、合わせて528人が参加した。

さらに「障害児担当者研修」の開催、公立保育所の公開保育にて

私立保育施設との意見交換を行っている。

問 介護サービスの利用限度を超えたときのサービスは。

答 65歳になった人は、介護保険サービスを優先しての利用となるが、介護保険のサービス内容では十分な支援を受けられない場合、障害の特性や心身の状況などを考慮し、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを提供する場合がある。

問 障害のある人への紙おむつ給付の制度について、その概要と対象者の人数は。

答 在宅で排せつの意思表示が先天的に困難な人への給付制度があり、令和6年度支給対象者は99人であった。

その他の質問

- 投票しやすい環境に
- 平和事業の推進を

いのちを守る避難所を
上尾市の将来ビジョン

平田通子（日本共産党）



いのちを守る避難所を

問 避難所開設訓練などの防災訓練が、市民参加で実施されていない地域もあるが、課題を問う。

答 地域による防災意識の差は認識しており、防災士の育成の他、市民参加型の訓練の実施や出前講座などを通じて防災意識や自助・共助の啓発を図っていく。

問 防災倉庫には、女性や子ども・高齢者のための備蓄品が配備されているのか伺う。

答 女性または妊産婦、高齢者に配慮した物品を備蓄している。さらに本年度中に、下着セットは男女共用で利用できるものに更新する他、新たに子ども用下

着セットを配備する。

上尾市の将来ビジョン

問 水上公園跡地に、市民プールの整備が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

答 施設の必要性は高いものであると認識しており、県が進める上尾運動公園再整備においても、屋内25メートルプールの整備を引き続き強く要望していく。

問 市民一人一人の環境問題への意識改革とアクションが大事だと思うが、市長はどのように進めるのか伺う。

答 これまで拡充してきた補助制度の他、太陽光発電設備などを低価格で購入できる共同購入事業の実施などを検討し、行動変容・意識改革につなげていく。

その他の質問

- 学校・公共施設の削減でなく充実を

10年後を見据えた
上尾市としての戦略が必要

海老原直矢（政策・市民の声）



問 日中と夜間の人口の割合を示す昼夜間人口比率を見ると、上尾市は県内同規模の自治体で最も昼間の人口が少なく、日中人が流出していることが分かる。市としてはどのように考えているか。

答 定住促進の観点では通勤アクセスの良さをアピールしており、本市の特徴とも捉えているが、企業誘致など雇用確保策も含めて持続可能なまちづくりを努めていきたい。

問 上尾市には10年後を見据えた戦略が必要であると考えますが、現状存在しているか。

答 重点的に推進する分野について、市全体を網羅して取りまとめ

た戦略はない。

問 企業誘致のため県の制度活用が足りないと思われるが、課題は。

答 市内では企業誘致をするための産業用地の捻出が難しいと認識している。既存の産業用地の活用について検討を進めていく。

問 企業撤退後の用地やUR団地の再編時に生まれた土地の活用などについて、部局横断的な体制の整備をすべきと考えるが、副市長の考えはいかがか。

答 県の産業労働部の時代から本市の企業誘致の取り組みがいまひとつであると感じており、就任以来担当と話をしている。魅力を生かせる関係部署を集め、私も中心になら進めていきたい。

その他の質問

- 公共の役割

市民の命を守る

防災組織・訓練とは

原田嘉明（志誠ネット）



問 自警消防団で能登

半島の七尾市、会派では高知県中土佐町「防災テーマパーク宣言」の取り組みを視察した。住民や来訪者が日常生活で防災に触れる機会を創出し、防災意識の裾野を広げ、防災情報の更新や防災リーダー育成を目指すとともに、自助・共助の啓発を重視し、成果が出ていた。

また防災フェスタや

一斉避難訓練を行政主導ではなく、自主防災が実施し、住民自ら避難後の行動を学ぶ機会を提供し、職員が常に駆けつけられない可能性を伝え、自助の重要性の啓発、住民意識の変化と運営協力、次のステップへの移行につ

なげていた。

本市の理想的・実践的な防災組織とはどのようなものか。防災都市日本一を目指す市の見解を求める。

答 公助の力だけでは

防災対策は成し得ず、自助、共助による地域防災力が必要不可欠である。各自主防災会が主体的に地域の特色や危険箇所などを把握し、平時から訓練や啓発活動に取り組むことで、有事の際も地域で助け合いのできる自主防災組織となることが理想的である。

問 自らの命は自らが

守る考えの市民をいかに増やすのか。

答 そうした考えの市

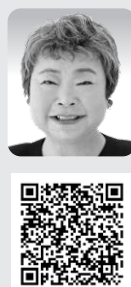
民を増やすことは重要と考えており、啓発を行っている。

その他の質問

投票行動と公共交通

市の将来の見通しと対策

秋山かほる（無会派）



問 定住人口を増やす

ことが重要であり、そのための施策が必要と考える。定住人口の増加に向けて、市独自の政策はどのような取り組みを行っているか市長に伺う。

答 定住人口を増やし、

人口減少の緩和を図ることが重要と認識しており、これまで認可保育所などの保育施設を24力所整備した他、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談体制の構築など、若い世代、子育て世代の転入に資する施策を積極的に推進してきた。

また地域創生総合戦略に沿ってさまざまな世代に向けた施策も実施しており、就任以来、

県内トップレベルの転

入超過が実現している。引き続き将来にわたって活力のある上尾を築いていくため、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりに取り組む。

問 閉鎖した保育施設

と新しく整備した保育施設の比率はどのようなになっているか伺う。

答 閉鎖した保育施設

は公立保育所4カ所、私立保育園1カ所、小規模保育施設2カ所の計7カ所となっている。整備した保育施設は公立保育所1カ所、私立保育園11カ所、認定こども園2カ所、小規模保育施設10カ所の計24カ所となっている。

その他の質問

上尾市が建築許可を出したサイサン

のLPガスタンク
上尾市の広報

田島純議員が辞職

10月23日に、田島純議員（あげお志誠ネットワーク）から辞職願が提出され、議長は同日付でこれを許可しました。

委員会の変更

田島純委員の辞職に伴い、11月10日付で、新道龍一議員が議会改革特別委員会委員に選任されました。

本宮市との合同研修を開催

10月30日、友好都市である福島県本宮市の市議会議員と合同で、研修会を開催しました。早稲田大学デモクラシー創造研究所・西川裕也氏、山内健輔氏を講師に迎え、「ゼロから始める地方議会でのChatGPT活用方法」をテーマにご講演いただき、議会活動における生成AIの活用について、実践を交えながら学ぶことができました。



他市からの行政視察

全国各地の自治体議会からの視察を受け入れており、本市の取り組みを参考にさせていただいています。

■上尾市へ視察に来た自治体議会（7月16日～11月15日）

愛知県豊田市、大阪府吹田市、さいたま市、鶴ヶ島市、三重県松阪市、岡山県真庭市、茨城県牛久市、愛知県知多市、北海道斜里町、羽生市、大阪府枚方市、熊本県宇土市、北海道伊達市、兵庫県尼崎市、新潟県村上市、千葉県東金市、愛知県名古屋市、茨城県東海村

■視察テーマ

- 子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」（11市町）
- 水泳授業の基本方針（1市）
- 多言語対応の生活オリエンテーション動画と外国人住民へのサービス（1市）
- ヤングケアラー支援（1市）
- 放課後児童クラブ（1市）
- コミュニティバス「ぐるっとくん」（1市）
- 中学校部活動地域移行モデル事業（1村）
- 農産物自動販売機（1市）



12月定例会会期予定表

12月25日 開会
 1月7日 質疑、委員会付託
 8日 委員会
 (総務、都市整備消防)
 9日 委員会
 (文教経済、健康福祉)
 14~16、19~21日
 一般質問
 23日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定
 しています。

*12月定例会は、12月25日
(木)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、12月19日(金)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

次の議会だよりは3月1日発行

次号は12月定例会の閉会日が令和8年1月23日を予定しているため、編集の都合により3月号(3月1日発行)としてお届けいたします。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

委員長 小池 佑弥
 副委員長 稲村久美子
 委員 黒須喜美雄
 委員 篠原文子
 委員 島津 秋男
 委員 井上 淳子
 委員 荒川 昌佑

委員会活動 R7.7.16 ~ R7.11.15

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	9/2 9/3 10/14~15 11/10	・9月定例会提出議案1件を審査 ・9月定例会提出議案5件を審査 ・行政視察(長岡市、小千谷市、見附市) ・行政視察(鴻巣市)
文教経済 常任委員会	8/6 9/4 11/12~14	・所管事務調査「学校の教師用指導書の活用状況について」「学校運営費に関する諸課題について」 ・9月定例会提出議案2件、請願2件を審査 ・所管事務調査「学校の教師用指導書の活用状況について」 ・行政視察(寝屋川市、豊中市、伊丹市)
都市整備消防 常任委員会	8/18~20 9/3	・行政視察(福島市、石巻市、須賀川市) ・9月定例会提出議案7件を審査
健康福祉 常任委員会	9/2 9/4 9/25 11/5~7	・9月定例会提出議案1件を審査 ・9月定例会提出議案1件を審査(再付託) ・9月定例会提出議案5件、請願1件を審査 ・所管事務調査「本市のこどもの居場所の取組状況」 ・9月定例会提出議案1件を審査 ・行政視察(仙台市、釜石市、花巻市)
議会運営委員会	8/25~9/30 10/20~21	・議会運営について協議(協議回数7回) ・行政視察(掛川市、可児市)
議会改革 特別委員会	8/21 10/8	・議会改革協議事項について ・議会改革協議事項について
決算特別委員会	9/2 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/16	・正副委員長の互選 ・一般会計歳入および歳出(総務関係)を審査 ・一般会計歳出(健康福祉関係)を審査 ・一般会計歳出(教育・環境経済関係)を審査 ・一般会計歳出(都市整備消防関係)、企業会計を審査 ・財産に関する調書、特別会計を審査 ・討論、採決、提言まとめ
議会報 編集委員会	7/16 8/28 9/30	・「あげお議会だよりNo.216」などについて協議 ・リニューアルに向けた協議 ・「あげお議会だよりNo.217」などについて協議

—意見書2件を原案可決—

9月定例会では、議員提出議案として意見書2件を提出し、いずれも可決しました。意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 法務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆埼玉県県民活動総合センターの継続を求める意見書

提出先⇒埼玉県



マチイロ

議会だよりをスマホに配信!

- ① スマホなどで二次元コードを読み取り「マチイロ」をインストール
 - ② 「お住まいの地域」で「埼玉県上尾市」を登録
- ※ダウンロードや利用時にかかる通信料はご利用者の負担となります。

